

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【298】
2. 日時：令和2年8月24日 13時30分～14時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、津金主任安全審査官、宇田川安全審査官、  
服部安全審査専門職、堀野技術参与、山浦技術参与

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 課長 他12名※

## 5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書について、令和2年7月30日、8月19日及び8月20日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【耐震性に関する説明書（管の耐震性についての計算書（格納容器圧力逃がし装置））】

- 伸縮継手について、耐震性の評価結果を説明すること。また、格納容器圧力逃がし装置以外の配管で使用している伸縮継手についても耐震性の評価結果を説明すること。

【耐震性に関する説明書の補足説明資料（電源盤・制御盤消火設備のうち配管の加振試験について）】

- 耐震評価に用いる設置位置での加速度について、壁に取り付けられた配管は、設置階と上階のどちらか大きい方の応答加速度とする基本方針に基づいて設定していることを説明すること。

【耐震性に関する説明書の補足説明資料（ケーブルトレイ消火設備のうち配管の加振試験について）】

- 「図4-2 周波数応答関数」、「表5-4 サインビート波加振試験結果」、「図5-1 サインビート波加振試験結果」について、X方向とY方向の結果が各図表で整合していることを説明すること。また、そのような結果となった理由を説明すること。

【耐震性に関する説明書の補足説明資料（ダイヤフラムフロアの鉛直固有周期について）】

- 「表 2-1 解析モデル諸元」のうち質量面密度について、自重に加えて積載荷重も考慮していることを説明すること。
- 解析モデルについて、今回モデルの妥当性を整理して説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他  
なし